日本工学	院専門学校		開講年度	2020年月	芰	科目名	放送映画	リテラシー	D 1
科目基礎情	 青報			1		L	L		
開設学科	放送芸術科			コース名	全コース			開設期	前期
対象年次	2年次			科目区分	必修			時間数	30時間
———— 単位数	2単位							授業形態	講義
<b></b>	毎回レジュ	メ・資料を	配布する。	参考書・参	考資料等は	は、授業中に持	指示する。		1
担当教員情	 青報								
担当教員	馬場定雄			実務経験の有無・職種		有・映像制作の演出			
学習目的									
到達目標									
	_						-及びソフトウ	ェアーの知語	俄を学びその知識を元に想像力・発
受業概要	この授業で 力を膨らませ この授業で	せ最終的には では、学生間 社会の桃子	個々の技術で ・教員と学生 公に注意しま	力の向上を伸 生のコミュニ 自分でも、情	ばすことが ケーション 報を収集、	目的である。 を重視する。 = 起こっている	キャリア形成の	観点から、摂	戦を学びその知識を元に想像力・発 受業中の私語や受講態度などには厳 ひいて考えること。ただし、授業時
受業概要	この授業で 力を膨らませ この授業で く対応する。	せ最終的には では、学生間 社会の桃子	個々の技術で ・教員と学生 公に注意しま	力の向上を伸 生のコミュニ 自分でも、情	ばすことが ケーション 報を収集、	目的である。 を重視する。 = 起こっている	キャリア形成の	観点から、摂	受業中の私語や受講態度などには厳
受業概要	この授業で 力を膨らませ この授業で く対応する。 の4分の3以	せ最終的には では、学生間 社会の桃子 以上出席しな <b>割合</b>	個々の技術プ ・教員と学生 公に注意しま い者は定期記	力の向上を伸 生のコミュニ 自分でも、情	ばすことが ケーション 報を収集、 ることがで	目的である。 を重視する。 = 起こっている	キャリア形成の 事象の原因や今	観点から、摂	受業中の私語や受講態度などには厳
受業概要 主意点 <b>評価</b>	この授業で 力を膨らませ この授業で く対応する。 の4分の3以 <b>種別</b> <b>試験・課題</b> <b>小テスト</b>	き最終的には ごは、学生間 社会の桃子 以上出席しな <b>割合</b> <b>80%</b>	個々の技術プ ・教員と学生 公に注意し い者は定期記 試験と課題	力の向上を伸 生のコミュニ 自分でも、情 式験を受験す	がばすことが ケーション 報を収集、 ることがで	目的である。 を重視する。 <sup>会</sup> 起こっている きない。	キャリア形成の 事象の原因や今	観点から、摂	受業中の私語や受講態度などには厳
受業概要 主意 <b>評価方</b>	この授業で 力を膨らませ この授業で く対応する。 の4分の3以 <b>種別</b> <b>試験・課題</b>	き最終的には ごは、学生間 社会の桃子 以上出席しな <b>割合</b> <b>80%</b>	個々の技術プ ・教員と学生 公に注意し い者は定期記 試験と課題	力の向上を伸 生のコミュニ 自分でも、情 式験を受験す	がばすことが ケーション 報を収集、 ることがで	目的である。 を重視する。 = 起こっている	キャリア形成の 事象の原因や今	観点から、摂	受業中の私語や受講態度などには厳
受業概要 主意点 <b>評価</b>	この授業で 力を膨らませる。 の 4 分の 3 以 種別 課題 小ティート 成果 発表 (ロ頭・実技)	世最終的には では、学生間 社会の桃子 以上出席しな <b>割合</b> <b>80%</b>	個々の技術で ・教員と学生 公に注意しま い者は定期記 試験と課題 授業内容の	力の向上を伸 生のコミュニ 自分で受験す 気を総合的に で理解度を確	ばすことが ケーション 報を収集、 ることがで 二評価する	目的である。 きを重視する。 きおい。	キャリア形成の 事象の原因や今 <b>備 考</b>	観点から、摂	受業中の私語や受講態度などには厳
受業概要 意 <b>評価方法</b>	この授業で 力を膨らませ この授業で く対応する。 の4分の3以 種別 試験・課題 小テスト レポート 成果発表	世最終的には では、学生間 社会の桃子 以上出席しな <b>割合</b> <b>80%</b> <b>10%</b>	個々の技術で ・教員と学生 公に注意しま い者は定期記 試験と課題 授業内容の	力の向上を伸 生のコミュニ 自分で受験す 気を総合的に で理解度を確	ばすことが ケーション 報を収集、 ることがで 二評価する	目的である。 を重視する。 <sup>会</sup> 起こっている きない。	キャリア形成の 事象の原因や今 <b>備 考</b>	観点から、摂	受業中の私語や受講態度などには厳
受業概要 : 意 <b>評価方法 計</b>	この授業で 力を膨らませる。 のながなかの3以 種別 試験・スト レポスト レポスト レポスト レポスト マップ点	世最終的には では、学生間 社会の桃子 以上出席しな <b>割合</b> <b>80%</b> <b>10%</b>	個々の技術で ・教員と学生 公に注意しま い者は定期記 試験と課題 授業内容の	力の向上を伸 生のコミュニ 自分で受験す 気を総合的に で理解度を確	ばすことが ケーション 報を収集、 ることがで 二評価する	目的である。 きを重視する。 きおい。	キャリア形成の 事象の原因や今 <b>備 考</b>	観点から、技後の推移につ	受業中の私語や受講態度などには厳
受 業 概要 点 <b>評価方法</b> <b>計</b>	この授業で 力を膨らませる。 のながなかの3以 種別 試験・スト レポスト レポスト レポスト レポスト マップ点	世最終的には では、学生間 社会の桃子 以上出席しな 割合 80% 10% <b>10%</b>	個々の技術で ・教員と学生 公に注意しま い者は定期記 試験と課題 授業内容の	カの向上を伸生の一点を伸生のからます。 ままま 受験を おりまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま かいまま か	ばすことが ケーション 報ることがで 記評価する と説する 授業態度に	目的である。 きを重視する。 きをこない。 かに実施する	キャリア形成の 事象の原因や今 <b>備 考</b> する	観点から、技後の推移につ	受業中の私語や受講態度などには厳
受 主 <b>受</b> 主 <b>漢</b> 回 1	この授ませる。 こがは では では では では では では では では では で	世最終的には では、学生間 社会の桃子 以上出席しな 割合 80% 10% <b>回</b> ) 授業内容	個々の技術プ ・教員と学生 公に注意しま い者は定期記 試験と課題 授業内容の	かの向上を伸 をのうに をのうでを受験を でする でをでする でする でする でする でする でする でする でする でする でする	ばすことが ケーション 集 で マッ 集 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	目的である。 を重視する。 きむこない。 かに実施する イツリーの役目	キャリア形成の 事象の原因や今 <b>備 考</b> する 各回の至	観点から、技後の推移についます。	受業中の私語や受講態度などには厳
価 方 法	この授うませる。 このが分のののののののののです。 では、このが、のののののののののののののののののののののののののののののののののの	世最終的には では、学生間 社会の桃しな 割合 80% 10% 回) 授業内容	個々の技術プ ・教員と学生 公に注意しま い者は定期記 試験と課題 授業内容の	カの向上を伸 上の向上を伸 上の分を受験を でを受験を でをでする。 でをでする。 ででをでする。 ででする。 ででする。 ででする。 でする。 でする。 でする。 です	ばすことが ケーション (	目的である。 を重視する。 きむこない。 かに実施する イツリーの役目	キャリア形成の 事象の原因や今 <b>備 考</b> する 各回の至 ま、放送局の仕 マルメディア用	観点から、技後の推移についます。	受業中の私語や受講態度などには厳
授 注 意 <b>評価方法 計</b> 1 回 2	この授業で えを膨らませる。 このがはませる。 のはかのののは、 を動きませる。 のは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	世最終的には では、学生間 社会の桃しな 割合 80% 10% 回) 授業内容 ボイア用語 目み 1	個々の技術プ ・教員と学生 公に注意しま い者は定期記 試験と課題 授業内容の	カの向上を伸 上の向上を向 この分を受験を で で を の で を の で を の で を の の の で を の の の の	がばすことが ケーをことが シリ集がで 主評価するため 大きなことがで をする。 大きないで をする。 大きないで をする。 をする。 ないでもの。 でいる。 でい。 でいる。 でい	目的である。 きを重視する。 きをこない。 かに実施する イツリーのです けるデジタ	キャリア形成の 事象の原因や今 <b>備 考</b> する 各回の至 は、放送局の仕 なルメディア用 目みを学ぶ	観点から、技後の推移についます。	受業中の私語や受講態度などには厳

CSの仕組み衛星からの受信方法を学ぶ

ネット配信のコンテンッ制作について理解する

4 K放送やHDRについて仕組みを理解する

映画用カメラ、放送カメラ、レンズの種類を学ぶ

映像合成機器の種類や合成のしくみについて理解する

クレーン、レール、steadyCAM、シンバルカムなどの特殊撮影機器の撮影方法を学ぶ

AVID、FinalCutPRO、プレミア、ダビンチなどのノンリニア編集機の種類を学ぶ

ブラウン管からプラズマ、液晶、有機ELまでのヒストリーを学ぶ

映像業界で使用されている色々なファイル形式や記録媒体を理解する

スカイカム、スパイダーカム、ドローン、ジンパルカメラなどのリモートカメラの仕組みを学ぶ

6 回

7 回

8 回

9 回

10回

11回

12回

13回

14回

15回

色々な放送仕組み 2

色々な放送仕組み 3

色々な特殊撮影機器 1

色々な特殊撮影機器 2

色々な撮影カメラ機器 1

色々な撮影カメラ機器 2

色々な編集、合成機器 1

色々な編集、合成機器 2

映像フォーマットについて

色々なテレビ